

## 日本木材学会中国・四国支部第27回研究発表会（2015年岡山）の開催報告

### 1. 日程等

日本木材学会中国・四国支部では、下記の日程で第27回研究発表会を開催した。

主催：一般社団法人日本木材学会中国・四国支部

共催：森林バイオマス利用学会、公益社団法人日本木材加工技術協会中国支部

会期：2015年9月28日（月）～29日（火）

会場：久世エスパスランド（岡山県真庭市鍋屋17-1）

日程：9月28日（月）

9：30～11：45 研究・技術発表（口頭発表）

11：50～12：50 日本木材学会中国・四国支部理事会

13：00～14：00 研究・技術発表（展示発表）

14：30～17：00 技術講演会

18：00～20：00 研究交流会及び表彰式

9月29日（火）

10：40～ 森林バイオマス利用セミナー（見学会）出発

11：00～11：40 CLT製造ライン（銘建工業株式会社）見学

11：50～12：10 CLT建物（勝山共同住宅）見学

12：20～13：20 昼食 蕎麦屋（郷宿）

13：40～14：50 真庭バイオマス集積基地・木粉製造ライン見学

15：00～16：00 木質バイオマス発電施設見学

17：00 解散（JR津山駅）

### 2. 発表件数等

大学、公設研究機関を中心に、ほぼ例年並みの発表件数と参加者人数であった。発表会場は、口頭部門を物理系と化学系の2会場とした。

発表件数：口頭発表17件、展示発表9件

参加者：事前申込み50名（講演会のみを除く）

### 3. 技術講演会

一般公開形式の講演会としたため、多くの一般の参加者があり、例年になく盛況であった。質疑応答も行われ、充実した内容であった。

テーマ：「岡山県北における新たな木材利用の取り組み」

タイトルと講演者：「バイオマス産業都市“真庭”の構築をめざして 一地域資源を使い切る一」 太田 昇氏（真庭市長）

：「木材を活かし切る、CLT・バイオマス発電への取り組み」  
中島浩一郎氏（銘建工業株式会社代表取締役社長）

参加者：160名

公開講演会としたため、岡山県内を中心に、木材業界、行政関係者など、一般の参加者が110名あった。

#### 4. 表彰

##### (1) 日本木材学会中国・四国支部地域功労賞

長年にわたって、地域の学術振興、業界への指導等に努力し、大きな功績があった会員を表彰した。

氏名：野地清美（のじ きよみ）氏

所属機関：高知県立森林技術センター

受賞題目：「木材乾燥、建築音響、木材保存等の研究及びその普及」

##### (2) 研究発表賞

中国・四国支部では、40歳未満の研究者を対象に、発表賞を授与する規約を設けている。本年度は、口頭発表会場の物理系と化学系の部門から各1件の発表賞、さらに展示発表会場から2件の発表賞を授与した。すべて、大学院生等の若手であった。また、4人中3人が留学生であった。

#### 5. バイオマス利用セミナー

##### (1) 参加者

例年よりも多い50名の参加者があった。主に大学、公設研究機関、民間企業の関係者であった。

##### (2) 視察内容

CLT製造ライン（銘建工業株式会社）、CLT建物（勝山共同住宅）、真庭バイオマス集積基地・木粉製造ライン、バイオマス発電施設を見学した。各施設では関係者から説明を行ってもらい、活発な質疑応答もかわされた。

#### 6. 総括

開催地の選考に当たってはいろいろ意見もあったが、「バイオマス産業都市」として発展をめざす岡山県真庭市での開催とした。ただし、交通アクセスが良くないため、参加人数に若干の懸念があったが、研究発表会には例年並、翌日のバイオマスセミナー（視察）には例年を上回る参加があり、一定の規模が確保できた。

内容的には、講演会や視察先を、現在話題となっている木質バイオマスとCLTに焦点を当てたものとした。様々な質疑応答も交わされ、参加された方には、一定の評価を頂けたのではないかと考えている。

（文責） 日本木材学会中国・四国支部支部長 河崎弥生